



今日の表紙 日光夏の新そばまつり



7月4日(土)・5日(日)、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で、日光夏の新そばまつりが開催されました。

このイベントは、日光の食の新しい魅力「夏の新そば」をPRするもので、今年で4回目を迎えました。

秋のそばに比べ、うっすらと青みの掛かった「夏そば」は、香りも喉越しもよく、独特の清涼感があります。開会と同時に会場には人だかりがで、市内外から訪れた多くの来場者たちは、それぞれ夏そばの味を堪能していました。

宇都宮市から会場を訪れた鈴木由美子さんは、「インターネットで情報を見て、家族で初めて来ました。こしがあっておいしいそばですね」と話してくれました。三人兄弟の空くん、陽太くん、颯太くんもおもしろそうにそばをすすっていました。



ほっとトーク

6月14日(日)・16日(火)・20日(土)・21日(日)に、市民の皆さんと市長が直接語り合う「ほっとトーク」を各地域で開催しました。

今回は「日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定のための意見を聞くことを目的に実施し、雇用促進や子育て環境の整備、地域の活性化などの意見がありました。



日光そばフォーラム

7月3日(金)、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で、日光そばフォーラムが開催されました。

そばの基調講演やパネルディスカッション、インターネットを活用した集客方法についての講演会、夏の新そばや氷温寒熟そばなどの試食会が行われ、会場は集まった多くの観光客や生産者たちでにぎわいました。



歯ッピー健康ロフェスタ

7月4日(土)に今市保健福祉センター(平ヶ崎)で「歯とお口の健康」がテーマの歯ッピー健康ロフェスタが行われました。

会場では、歯科医師の職業体験ができる「歯ッザニア」や自分の指の模型を作る「歯ッザニア」や自分の歯科技工士さんのコーナー、「むし歯なりやすさ診断コーナー」や「歯科医師や歯科衛生士による歯みがき指導」などが行われました。



同時に、80歳以上で自分の歯が20本以上ある人の「8020達成者表彰式」なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

歯ッザニアで虫歯の治療を体験した小学校6年生恩田莉瑚さん(木和田島)は「私は細かい作業が苦手、難しいかなと思っただけとても楽しかったです。とてもいい経験になりました」と笑顔で話してくれました。



いますぽフェスタ

6月14日(日)、県民の日協賛イベント、いますぽフェスタ2015が今市青少年スポーツセンターで開催されました。

屋外のイベントでは、栃木ウーヴァFCの選手が楽しく指導するサッカー教室と日本リーグで活躍するグラクソ・スミスクリラインの選手を招いてのフィールドホッケー教室が行われました。

参加した小学生たちは、時折歓



声を上げ、すがすがしい汗を流していました。

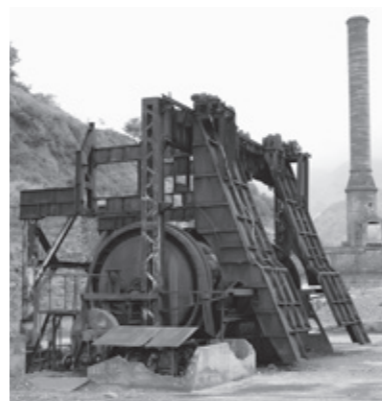
また、「チャレンジ、クライミング」では、体育館に設置されたクライミングウォールで、大人も子どもも壁登りを体験。宇都宮市から参加した加藤希藍さんは「クライミングは2回目。一生懸命登って、ロープで一気に下りるのが気持ちいい。また、挑戦したい」と笑顔で話してくれました。



足尾銅山の産業遺産見学会

6月23日(火)に、足尾銅山の産業遺産見学会が行われました。当日は28名が参加し、普段は立ち入りが制限されている松木村跡と本山製錬所の2カ所を見学しました。

古河機械金属株式会社の職員から「公害をもたらしたことは事実ですが、日本の産業の発達に多いに貢献したことも事実です。皆さんにはこの影の部分だけでなく、光の部分も語り部として伝えて



いってほしい」とあいさつがありました。

参加者たちは、当時の銅山の高い技術力に感嘆したり、普段は見ることのできない製錬所内の建造物に見入ったり説明を熱心に聞いていたりしていました。

神山章子さん(細尾町)は「ぜひ一度見てみたいと参加しました。また機会があれば参加したいですね」と話してくれました。

ホタル観賞会



6月12日(金)・13日(土)に、日光だいや川公園でホタル観賞会が行われ、2日間で延べ734人が会場を訪れました。

日光だいや川公園では、平成14年に初代緑の相談員によってホタルの飼育が開始されました。平成16年に初めて孵化に成功し、平成18年に自然発生が始まりました。平成20年から一般への公開が始まり、今年で8回目の開催になります。

毎年観賞会に訪れているという鈴木さん(宇都宮)は「とてもきれいですね。最近ではホタルを見られるところが少なくなってしまったのでこの環境をぜひ残してほしいですね」と話してくれました。

日が沈み、辺りが暗くなるにつれホタルが飛び交い始め、夜空に舞うホタルの幻想的な姿に訪れた方たちは感嘆の声を上げていました。

